

組織名	公益財団法人 福岡アジア都市研究所
-----	-------------------

## 1 組織概要

所在地	福岡県福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館6階
TEL	092-733-5686
FAX	092-733-5680
URL	http://www.urc.or.jp/index.html
e-mail	info@urc.or.jp
設立	2004年4月1日
設置都市等	福岡県福岡市
代表者	貫正義(会長/福岡経済同友会代表幹事)

## 2 組織動向

<b>(1) 沿革</b>		
設置経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1988年8月1日:財団法人福岡都市科学研究所設立</li> <li>○1992年10月7日:財団法人アジア太平洋センター設立</li> <li>○2004年4月1日:両財団統合にて名称変更</li> <li>○2012年4月1日:公益財団法人に移行</li> </ul>	
見直しの動向	—	
役割(2019年時点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市政策に関する調査研究、知識の普及及び情報の収集、提供、アジア諸都市との研究交流並びにこれらに関連する事業を通じ、地域社会の発展に寄与することを目的とする。</li> <li>○この目的のために、主に以下の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市政策に関する調査研究及び情報の収集、提供</li> <li>・講演会、研究会の開催等都市政策に関する知識の普及</li> <li>・研究誌等の刊行物の発行</li> </ul> </li> </ul>	
<b>(2) 組織体制</b>		
設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: )	
常勤職員数	17人	
うち常勤研究員数	6人	
非常勤研究員数	2人	
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 特に行っていない	
庶務体制	研究所内にて行っている。	
市民参加、外部連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賛助会員を対象に、会員研究員の受入れを行っている。</li> <li>・市民等を対象に、市民まちづくり研究員の受入れを行っている。</li> </ul>	
<b>(3) 会計</b>		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2019年度予算	17,797 千円	
2018年度決算	28,988 千円	
2017年度決算	16,626 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	補助金収入
	2位	事業収入
	3位	その他(具体的に:会費収入)
	4位	その他(具体的に:助成金収入)
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

組織名	公益財団法人 福岡アジア都市研究所
-----	-------------------

### 3 活動動向

(1)活動実績	
定期刊行物	○研究紀要「都市政策研究」(年度1冊発刊) ○福岡市のデータブック FUKUOKA growth 2020(隔年1冊発刊)
(2)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に:設置市との協議)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 特に行ってない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

### 4 特記事項

研究員の業務分担	研究組織は、調査研究チーム、情報戦略チーム、アジア交流チームに分かれている。
研究員の専門性 育成の手立て	○特別研究員による助言 ○プロジェクト方式による研究 ○アジアの研究者や研究機関相互の交流・連携
研究員のキャリアパス等	○公募制を実施している。 ○過去のキャリアパス例 ・民間大手研究所→当研究所→独立 ・大学院→当研究所→起業 ・民間企業→当研究所→大学教員
その他	

### 5 2019年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
福岡市における災害に強いまちづくりに関する研究「外国人の防災一みんなが助かる社会の構築に向けて」	近年、市民生活に多大な影響を及ぼす台風、大雨、地震などの自然災害が多発している。災害は予知することが難しく、日頃からの備えの重要性が増している。本研究は、特に外国人防災の観点から、福岡市の現状分析および災害時に外国人が抱える課題や対策について調査研究し、福岡市における誰もが助かる社会の構築に向けた6つの示唆を掲示した。Web発信…調査の過程で得た情報などを、随時発信した。(http://urc.or.jp/2019sougou-bousai-series)
防災と地域スポーツコミュニティ(フォローアップ研究)	H30年度、地域における防災活動のすそ野の広がりや、災害時の自助・共助に、地域のスポーツコミュニティが寄与できることがあるのではないかと着想し、調査研究を実施した。昨年度の同テーマの個別研究の深化を図るため、今年度は、校区防災訓練の一環としてのワークショップ開催など、地域での実践を通して、水平展開していくための課題を洗い出すことを主眼に置いた。(http://urc.or.jp/bousaisports-2020-report)
「情報技術を活用した食品廃棄物データの一元化による業務の合理化及び資源化促進に関する研究」	事業系食品廃棄物の再資源化の促進を図るために重要となる関連データについて、一元管理や付加価値のあるデータとしての活用が可能な情報システムの実装に向けた調査研究に着手。(R2年度に継続予定)(http://urc.or.jp/waste-d-system)